



明治大学教授／博士／一級建築士  
米国公認都市計画家  
ささきひろゆき  
佐々木 宏幸 委員

ここ1年間で大きな状況の変化が起きたことを理解した。重要なのは、整備検討委員会で作成した基本理念・基本構想の内容が実現される基本計画に向かっているかどうか。

分散配置は基本理念にも合っているし、中心市街地、アッフルロード、リニア駅という重心都市構造にホールを段階整備する方針も説得力がある。やり方次第では集中配置よりも大きな波及効果が見込めるのではないか。

一方で、飯田市の都市構造改善のためにどう空間づくりをしていくのか、また管理運営の負担増が複合化によってどのように解決していくのか考えていくことになる。都市構造の改善やどう実現性を検証していくかが重要だ。



竹田市総合文化ホールグランツたけた(大分県)チーフプロデューサー  
元 上田市交流文化芸術センター(サントミューゼ)プロデューサー  
おざわ おうさく  
小澤 櫻作 委員

現飯田文化会館の改修に当たっても「文化活動を止めない」という点に感銘を受け、安心した。

コロナ禍の例のように、一度止まると再始動が難しくなってしまうのが文化活動。厳しい外部環境のために全国的にもホールの建設設計画が頓挫している状況がある中で、分散型・段階整備で基本理念を実現するんだというメッセージは心強い。

一体整備ができないのは残念だが、全国を見ても社会状況は本当に苦しい。基本理念を実現させていくための活動がスタートすれば、飯田のまち全体が輝くだろう。

## Comment

さとう たけし  
佐藤 健 市長



「新しい文化会館の整備に関する基本構想」が令和6年3月に策定されてから約2年。「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」をどうやったら実現できるか、検討を重ねてきました。悩み抜いた結果、市民の皆さんの文化活動を止めないことを大前提に、まず現飯田文化会館を改修して長寿命化し、その間に、小ホール、中ホール、大ホールと段階的に分散整備して、まち全体で「飯田ひろば」を実現するという方針をまとめました。公民館など既存の施設も含めて、市内にある文化施設がどう連動して「ひと」を育み、「まち」を育み、「活力」を生み出すか——これまでの考え方とは異なる新しい挑戦となります。さまざまご意見を受け止めながら、柔軟で前向きな取組を市民の皆さんとともに進めていければと思います。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



## TOWARD THE NEXT STAGE

みんなでつくる「新しい文化会館」の取組状況をお届けします

## 飯田文化会館 ニュースレター

2026.2  
vol. 13

TAKE FREE

## 第13回 飯田市新文化会館整備検討委員会



# 第13回 飯田市新文化会館整備検討委員会

## 「飯田ひろば」実現のための基本方針案が確認されました

「新しい文化会館の整備に関する基本構想」で生み出されたものを、これからの飯田文化会館の基本理念とすること、施設整備については「まち」全体で「飯田ひろば」が実現できるように機能を分散整備すること、文化活動を止めないように急務である現飯田文化会館の改修に着手し、小ホール→中ホール→大ホールを段階的に整備していくことなどが示されました。

これからの

### 飯田文化会館の基本理念

市民とともに、文化を育み「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」の実現を目指します

#### 基本理念を実現するための5つの基本方針

- 集う** … さまざまな方が日常的にも集い、交流できる場を充実させます
- 観る** … 心が満たされる鑑賞の場を確保します
- 創る** … 飯田ならではの舞台芸術を創造し、支援します
- 伝える** … 舞台芸術活動を促進し、次世代へ伝えます
- 育む** … 舞台芸術の演じ手や支え手を発掘し、育成します

#### 飯田ひろばの概念

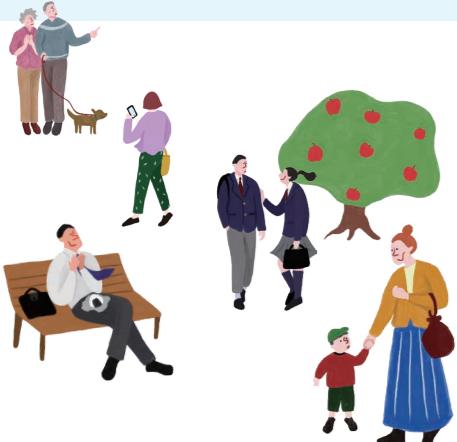
飯田市全体を「飯田ひろば」に！

「飯田ひろば」とは、人々が自然と集い、楽しさや喜びを共有でき、新しい動きが起きる「空間」です。

飯田文化会館を拠点として、市内に分散している文化施設においても文化活動や舞台芸術活動が行われます。

市内のあらゆる場でこのような活動が行われている飯田市全体が「飯田ひろば」です。

人々は舞台芸術や文化活動に触れ、楽しみや喜びを感じながら生活し、市内では誰もが集い、創り、伝える活動がいつも繰り広げられ、ワクワク！ドキドキ！が生まれることを期待します。



#### 現飯田文化会館の施設・運営に関する最近の出来事

- 令和7年4月 ホール空調設備故障(代替機器を設置し応急的復旧)
- 5月 ホール舞台技術管理業務受託者のうち1者休止
- 6月 講習室の空調故障(機器更新)※同時期更新の機器を他室で使用中
- 7月 屋上防水劣化により講習室天井の一部落下(応急修繕済)
- ホール音響操作卓に不具合発生(応急修繕済)
- 8月 ホール照明操作卓に不具合発生(応急修繕済)

※機能不全となる前に舞台・空調・受変電・給排水など設備全般の更新が不可欠な状況



### 整備方針

- 「まち」全体で「飯田ひろば」が実現するように機能を分散整備します。
  - 文化活動を止めないようにまず現飯田文化会館の改修に着手し、続いて小ホール→中ホール→大ホールと段階的に整備していきます。
  - 限られた財源を効果的に活用するため、複合化※を基本に施設整備を行います。
- ※複合化=異なる目的や機能を持つ複数の施設を一つの敷地や建物に集約させること

### 整備手順

#### 現飯田文化会館 長寿命化改修

- 「新しい文化会館の整備に関する基本構想」を踏まえて実施
- 舞台芸術活動の継続を重視し、休館期間を最小限
- 目標使用期間は最大20年

#### 小ホール機能（100人程度）

旧飯田市公民館跡地に検討されている「(仮称)飯田こども広場」に整備

#### 中ホール機能（500人程度）

鼎文化センター周辺に構想されている「鼎複合施設」に整備

#### 大ホール（1000人程度）

現飯田文化会館を改修し使用する間に新たな大ホールの整備のあり方を再検討。現時点ではリニア駅周辺が候補地

最大20年

### 整備方針の考え方

- ◆ 「飯田ひろば」を1つの館で実現しようとする場合の課題
  - 昨今の建設費の急騰により多額の財政負担が見込まれます。
  - 広大な敷地を必要とし、適地が限られます。
- ◆ 分散整備のメリット
  - 各施設に特色や機能を持たせることによって多様性・発展性が期待できます。
  - 利用者の間口や選択肢を増やすことができます。
  - 市内複数箇所でぎわいが施設周辺にじみ出ます。
- ◆ 必要な視点
  - 分散整備は費用総額が増加する可能性が高いため、複合化を基本に検討します。
  - 施設整備と併せて、拠点間を結ぶ交通機能(公共交通ほか)の検討も必要となります。

### 整備検討委員の意見

- 文化活動を止めないことを前提に改修することは大賛成。今後の人口推計を考えると、1カ所への整備が一番いいとは思うが、現実問題を考えると分散整備も仕方ない。われわれが議論してきた「飯田ひろば」の構想を20年後に生かしてほしい。
- 社会情勢の変化を踏まえて、極めて現実的な内容と理解した。既存の施設が「人を育み、まちを育み、活力を生み出す」機能を十分に発揮できていない。そのためのソフトウェアについて今からしっかり知恵を絞り、「飯田ひろば」の機能を先取りしていく必要がある。
- 分散型のデメリットをどうメリットに転換するか、市民の意見を聞きながら進めてほしい。旧飯田市公民館跡地とその周辺は子どもの遊び場として立地がよいので、整備の仕方に知恵を出していただきたい。
- 管理運営を考えればやはり1館集中の方が回しやすい。舞台技術者の育成に目を向けてほしい。
- ホールはぜひ飯田市の直営で管理運営してほしい。文化活動にしっかりと予算をつけて、ここに住んでいる市民の幸せになる施設を考えほしい。
- 無い袖は振れない状況になったことを皆理解していると思う。大ホールの整備が20年後であれば、逆にしっかり考えられるチャンスである。3つの施設をどう有機的に結びつけるかが一番の課題になる。飯田は各地区の公民館がしっかりしているので、文化会館の事業と結びつけられるのではないか。小ホールであれば300席、中ホールであれば、600席くらいの規模がいい。文化施設の敷居を下げるために、誰でも立ち寄れるフリースペースを作ってほしい。
- 説明のあった「ひろば」や「分散」の概念が、これまで議論してきた概念だろうか。夢をもって議論してきた委員の皆さんへの思いを考えると、もう少し原点に戻った概念のあり方があるのでないか。都市構造の改善は大事だと思うが、メリットとデメリットがある。